

# 会議所通信

The Sapporo Chamber of Commerce and Industry

当コーナーでは、当所が取り組むホットな事業をご紹介していきます。

## 2/5~11 来札幌観光客おもてなし強化 第六十四回さっぽろ雪まつり ウエルカムサッポロキャンペーン

当所観光ボランティアガイドの会では、さっぽろ雪まつりに合わせて急増する観光客のおもてなしを強化する「ウエルカムサッポロキャンペーン」を今年も実施した。

市内中心部九カ所のホテルロビーでの臨時観光案内所開設のほか、道庁赤レンガ庁舎、狸小路民間交番でのボランティアガイド増員体制で案内業務を行った。



期間中およそ4,600名の観光客を案内した

また、札幌国際プラザの外国語ボランティアガイドと連携し、外国人観光客の観光案内体制も強化した。

## 2/9 漫画・キャラクターコンテンツ活用観光振興事業 「コアックマ・アックマとゆく 札幌観光バスツアー」

漫画やキャラクターを活用した観光振興事業として、漫画作品の舞台となった場所を巡る「マンタビツアー」の第三弾を開催した。

今回は、札幌のご当地キャラクター「コアックマ」「アックマ」と一緒に札幌市内の観光スポットを巡るツアーで、さっぽろ雪まつり会場から、白い恋人パーク、羊ヶ丘展望台などの観光施設を巡ったほか、「アックマのアジト」が初公開され、参加したファンを喜ばせた。



道内外からファン31人が参加した

## 2/9・10 群馬県商工会議所連合会との 情報交換会

群馬県商工会議所連合会から、曾我孝之会長をはじめとする一行が札幌を訪れた。



懇談の様子

当所からは、高向会頭と布施副会頭が参加し、まちづくりにあたってのイベント事業の取り組みや、商工会議所を運営する上での諸課題などについて情報交換を行い、今後とも交流を深めていくことを確認した。

## 2/13 平成二十四年度第五回 海外ビジネスリーダー養成塾

海外ビジネスに携わる次世代経営者の育成を目的とした養成塾の五回目となる講座を開催した。

今回は「外国企業との交渉術」と「グローバル人材のマネジメント」をテーマに、講師に小樽商科大学ビジネススクール教授中村秀雄氏とパソナ・札幌の顧問紺野猷邦氏を招き、外国企業との契約交渉や、契約書作成時の留意点、

## 2/13 本業を通じた社会貢献を考える 第二回 企業の新たな価値創造塾

CSRや社会貢献をテーマに事例研究や参加企業同士のディスカッションなどを通して、札幌市内における企業の新しい価値創造について学ぶ場を提供する「企業の新たな価値創造塾」(全六回)の二回目を開催した。

今回は、ゲスト講話にneeth(株)代表取締役CEOであり、NPO法人札幌ビジネスカフェ理事事務局長の石井宏和氏を迎え、企業家としての自身の活動や、現在取り組んでいる事業についてご説明いただいた。

その後の質疑応答では、同氏の起業のきっかけや事業を行う上での情報発信の仕方、地域連携を通じた産業育成に関する取り組みについてなど、さまざまなテーマで多くの質問が出る中身の濃い二時間となった。



加藤塾長(左)とゲスト講師の石井氏(右)

## 2/14 地域雇用創造推進事業 観光業界合同企業説明会

当所はこれまでに、地域雇用創造推進事業として、求職者を対象とした接客中国語講座や、事業者を対象とした観光業界におけるおもてなし力向上を目的とした各種講座を開催してきた。その一環として、観光業界への就職を目指す求職者が参加する合同企業説明会を開催した。

当日は、ホテル・旅館、旅行会社、観光施設など二十五社が出展し、参加した求職者とのマッチングを行った。

## 2/16 北海道フードマイスター検定運営委員会主催 北海道の食の安全・安心セミナー

わが国最大の食料基地である北海道に「食の安全・安心」を脅かす事例が増えていることを踏まえ、「フードチーン保全学」の権威である一色賢司氏を招いて「食品安全は農場から食卓へのパトナタッチ〜ビタミン愛を忘れず〜」をテーマに講演いただいた。

さらに北海道農政部の板谷守課長より、「北海道の食の安全・安心条例」に基づいた消費者と生産者・食品事業者間の信頼関係を構築する取り組み事

## 2/18 アジアビジネスサポートプログラム ミャンマーセミナー



講演会の様子

例などについて食産業などに関わる参加者に紹介した。終了後、参加者交流会を開催し、賑やかに意見交換が行われた。

中国・インドに続く新市場として、また生産拠点としても注目されるミャンマーについて「中小企業のためのミャンマービジネス」と題してセミナーを開催した。講師には、アセアン各国でのインフラ整備や経済協力案件のフォローを行ってきた中小企業基盤整備機構の国際化支援シニアアドバイザー



講演する伊藤氏

伊藤貞男氏を招いた。講演ではミャンマーの経済状況や、日系企業の動向など最新の情報を交えながらお話いただいた。

## 2/13~15 「北のブランド」食資源10プロジェクト スーパーマーケット・トレードショーへ出展

「食」をテーマとした国内最大級の展示会「スーパーマーケット・トレードショー」が東京ビッグサイトにて開催され、当所からは首都圏に向けた販売ルートの開拓と販路拡大を目指して「北のブランド」認証商品と、「食資源10プロジェクト」認定商品を展覧した。同展示会は、三日間でおよそ八万五千人の来場者を記録し、多くのバイヤーへ商品を買取することができた。



出展ブースは多くの人で賑わった

## 2/18・20 企業における危機管理対策・BCPセミナー(第一弾・第二弾)

東日本大震災や、暴風雪による大規模停電など、企業活動に大きな影響を与える自然の猛威に対して、企業としてどのような対策を取るべきか、緊急時の事業継続を目的としたBCP(計画策定)について、危機管理対策セミナーを開催した。

第一弾(十八日開催)は、札幌市危機管理対策室の松本敦史氏と、(株)NTTファイリティーズのBCPユニット長吉田誠氏より、それぞれ中小企業におけるBCP策定に向けた説明をいただいたほか、さくらインターネット(株)白井宏典氏より、データ資産の保全に向けた「データセンター」の活用について説明をいただいた。



18日のセミナーで講演する吉田氏

第二弾(二十日開催)は、東京海上日動リスコンサルティング(株)上席主席研究員の指田朝久氏より、北海道の産業構造・地理的特徴を踏まえたBCPのあり方や、企業防災とBCPの違いなどについてお話いただいた。

3/1 「新しい市場のつくりかた」セミナー



説明する辻氏

成熟市場にある日本において、これからの企業経営はどうあるべきか「新しい市場のつくりかた」と題したセミナーを開催した。講師は「新しい市場のつくりかた」の著者である東海大学政治経済学部専任講師の三宅秀道氏。特殊な技術を持つていなくても、問題の「開発」で、

効果ガスに関する新クレジット制度について、北海道地球温暖化防止活動推進員でもある(株)東洋実業の辻晋治氏より、「企業の省エネ」について説明いただいたほか、ECO宣言行動登録事業者三社より、優良事例としてそれぞれ自社の環境に関する取り組み状況を発表いただいた。

3/4 北海道新幹線建設促進札幌圏期成会主催 北海道新幹線開業を盛り上げる！ 開業に向けた取り組みと新函館(仮称)札幌間の建設工事計画説明会



講演する三宅氏

二〇一六年春の北海道新幹線開業への機運を盛り上げるため、開業に向けた必要な取り組みと着工の決まった札幌までの工事計画について説明会を開催した。同期成会の高向会長のあいさつの後、北海道新幹線新函館開業対策推進機構の永澤大樹事務局長より、「函館開業に向けた官民連携の取り組みについ

新たなビジネスチャンス(新市場)を見つけ、成功した企業の事例を具体的に紹介しながら、これからの企業の経営戦略において、今までは違ったまったく新しい視点で、商品や技術に「新たな価値」を見出す必要性について講話をいただいた。

3/5 第三十四期 第七回臨時議員総会



「皆さまの熱意を札幌開業早期実現につなげたい」とあいさつする高向会長

第七回臨時議員総会を開催した。今回の議題は、「部会編成替に伴う当所定款ならびに部会規定の一部改正(案)について」。産業構造の変化とともに、当所の部会体制の見直しが行われ、新たな組織体制を総務委員会で検討を重ね、本総会で提案し、承認いただいた。部会の新体制は、平成二十五年八月一日よりスタートする予定。

と題して講演いただいたほか、北海道総合政策部新幹線・交通企画局新幹線推進室の細野敏彦参事より「北海道新幹線時代の幕開けに向けた「カウントダウン・プログラム」について」、また、鉄道・運輸機構鉄道建設本部北海道新幹線建設局の依田淳一参事より「北海道新幹線の概要」について説明いただいた。

3/7 札幌商工会議所付属専門学校(CA) 第五十八回卒業証書授与式 三百三十五名が卒業



臨時議員総会の様子

札幌商工会議所付属専門学校(CA)の第五十八回卒業証書授与式を執り行い、卒業生三百三十五名が巣立った。式典では、来賓の札幌市産業振興部川畑恵部長より祝辞をいただいた後、篠木校長から卒業生へ卒業証書が授与された。

このほか、平成二十四年度の当所産業経済栄誉賞の候補者についても了承された。



卒業式の様子

2/19 「新卒予定者と市内中小企業のマッチング会」・「建設業就労マッチング会」



企業の説明を熱心に聴く学生

今春の新卒者を対象とした地元企業の企業説明会の場として就職マッチング会を開催した。卒業を間近に控えながら「地元企業の情報が乏しい」「志望する職種と違う」などの理由で就職先未定の学生は多く存在しており、本マッチング会で企業と求職者間のミスマッチ解消を目指すもの。

2/20 平成二十四年度 第二回新入会員交流会

当所ご入会一年から二年の方々を対象に新入会員交流会を開催した。当日は、「会議所の使い方」として当所事業の活用メモリの説明のほか、建設業の人手不足解消を支援するため、建設業関連の求職者を対象とした「建設業就労マッチング会」も同時開催した。

2/21・22・25・26・27 (株)ニッセン、(株)日本文化センター、(株)エレナとの「月例個別商談会」

か、参加企業四十八社がそれぞれ一分間PRを行った。その後、情報・名刺交換、交流会を行い、会員相互の新たな人脈・ネットワークの構築を図った。「月例個別商談会」。今回は、二十一・二十二日に通信販売大手の(株)ニッセン(京都)、二十五・二十六日にテレビショッピングで親しまれている(株)日本文化センター(東京)、二十六・二十七日に長崎県最大の食品スーパー(株)エレナ(長崎)の、それぞれバイヤーを招いて開催した。

参加した企業は、商品のPR・説明を行うとともに、バイヤーからは市場ニーズを踏まえた商品に対する意見やアドバイスをもらい、今後の参考としていた。

2/22 ベトナムにおける「食」の今を知る！ セミナー2013

より高級で安全な食材を求めるニーズが高まっているベトナムの新たな

「食」市場において、北海道食材の可能性や「食ビジネス」を行うための方向性について、ベトナムの政治・経済情勢や投資環境の留意点などを学ぶ四部構成のセミナーを開催した。第一部は、(株)ブレインワークス現地駐在員山口秀一氏より、「現地駐在員が語る日本食および北海道食材の可能性」について、第二部はベトナム産加工食品の試食会を行い参加者に現地の味を知ってもらったほか、第三部は、(株)ブレインワークス取締役大西信次氏より、「日本企業がベトナムで食ビジネスをする方法」について、第四部は、「今のベトナム、これからのベトナム」と題して在ホーチミン日本国総領事館副総領事の佐藤格郎氏より講演いただいた。



試食会では、ベトナムの珍味や即席麺など数種類を提供した

2/25 I-T関連企業向け就業規則セミナー 「専門業務型裁量労働制」の要件と導入手順

就業時間が不規則になりがちなI-T関連企業向けに「専門業務型裁量労働制」の導入について理解を深めてもらうとセミナーを開催した。これは、ソフトウェア技術者、新聞記者、放送番組・映画製作スタッフなど、労働時間と成果・業績が必ずしも連動しない職種に対し、業務遂行の手段や方法、時間配分などを大幅に労働者の裁量に委ねる制度。

当日は、「裁量労働制」の導入や、残業代の支払いなどについてSOC(株)人事労務アドバイザーの小野寺弘氏、人事労務アドバイザーの種物谷忠憲氏よりそれぞれ説明いただいた。

2/28 ECO宣言行動セミナー 「省エネマインドが結ぶ環境経営」

当所が二〇〇八年より実施している「ECO宣言行動」参加事業者を対象に、省エネ意識のさらなる向上のきっかけとなるよう「省エネマインドが結ぶ環境経営」と題してセミナーを開催した。当日は、北海道経済産業局資源エネルギー環境部の福島至氏より、「温室